



「怒れる女子会」は、特定政党を応援したり批判したりするものではなく、「オッサン政治」を変えたい人たちが、リアルな空間で集まっておしゃべりをする場です。時々、家庭のこと・仕事のこと・社会のことに、もやっとしたりむかついたりもしながらね☆

Q1 「怒れる女子会」って何かのグループ・組織なの？

いいえ、違います。政治や社会問題を語りたい、怒れる女性たちとそれを応援する男性たちとあれやこれや語り合ったり、講師を招いて勉強したりする会にそういう名前をつけてみました。

「その言葉、ぴんときた！」という方が、各地で勝手に「●●市怒れる女子会やりまーす」と名乗って企画されることを願っています。ぴんときたあなたが、怒れる女子会会員であり、その会の主催者です★

Q2 「怒れる女子会」の政策って何かあるの？

いいえ、Q1 で書いたとおり、特定の組織ではありませんから、「怒れる女子会の政策はこれこれです」という一義的なものではありませんし、☒『怒れる女子会』を名乗る以上はどこそこの政党を応援しなくちゃ」「どこそこの政党を批判しなくちゃ」という縛りなんてありません。でもでももちろん、怒れる女子としては、この選挙ではこの方を応援したいのよね！ 怒れる女子としてはこの議員さんにこういう意見を言いたいのよね！ オッサン政治を変えるにはここの選挙区ではこの候補者よねって、各人が意見を持つのは当たり前。A市の怒れる女子会とB市の怒れる女子会で、応援する政党や政治家が違うってことも、もちろんありうるでしょうし、それぞれの怒れる女子会ごとに同じ意見に集約する必要性もありません。

Q3 「オッサン政治」ってどういう意味？

第1回目の「怒れる大女子会」（11月22日@東京 YWCA）で三浦まりさん（上智大学教授）が説明したところによると、「オッサン政治」とは、独善的で、上から目線で、自分がいつも正しいと思っている「オッサン」が議会や政府の圧倒的多数を占め、他人の意見に耳を傾けずにどんどん決めていってしまう政治のありかたです。権力ゲームに勝ちさえすれば、あとは自分の好きなようにコントロールできると考え、民主主義にも人権にも社会の多様性にも無配慮な人たちが「オッサン」と呼ばれるのです。

「オッサン政治」では「オッサン」が意思決定の場を占める男性優位構造ができあがっていますから、女性たちはなかなか意見を聞いてもらえません。そのことに怒りを感じた女性たちの思いが「怒れる女子会」の結成へとつながったわけです。

なおこの言葉を最初に「発明」したのは、谷口真由美さん（全日本おばちゃん党代表代行・大阪国際大学准教授）です。

Q4 「オッサン」っていうのは男性差別じゃないですか？

Q3 の説明でも明らかのように、「オッサン」というのは、独善的で社会の多様性に配慮しない人を比喩的に示す言葉で、生物学的な男性も女性も含まれます。女性のオッサンもいるわけですし、すべての男性がオッサンであるわけでもありません。

一人ひとりがかげがえのない存在であり、どのような人であれ人間としての尊厳を持っていると思うなら、あなたは「オッサン」ではありません。

Q5 「女子」っていう表現は、女性を大人扱いしてなくて、馬鹿にした言い方じゃないですか？ なんでそんな表現を女性が自ら使うんですか？

「女子会」という言葉はここ数年、大人の女性のあいだでよく使われています。女性だけで集まって、ワイワイおしゃべりして息抜きをする場が「女子会」ですが、なんで一種のブームになっているかというと、「女子会」だと女性たちがのびのびと自分自身になれるからでは。男性社会のなかでは男性基準に合わせなくてはいけないし、それがいかにストレスになるかということ、女子会に来ると実感するわけです。

なぜ「女性会」ではなくて「女子会」なんでしょうね。多分、小学校から高校までは女子・男子の区別が普通にあって、でもそれが別に男子優位を意味していなかったからじゃないかしら。いろんな説があると思いますし、「女子会」というネーミングへの好き嫌いもあるでしょう。大切なのはみんなが集まって、政治について話をする事。別に「女子会」なんて言葉を使わなくて構いませんから、ぜひあなたがぴんとくる、他の言葉を発明して、政治談義を女性がする場をつくってくださいねー！

Q6 「怒れる女子会」を開催する場合は、どこかに申し出たり、許可を得る必要がありますか？

必要ありません。自由に開催してください。ただし、決定した情報を投稿いただければ、告知や情報共有になりますので、お知らせいただければうれしいです。